
人生が豊かになる上手なお金の育てかた

～あなたに合った分散投資のカタチが見つかります！～

大和証券株式会社

豊かな人生を送るために～（ご参考）ライフイベントでかかるお金

長生きに備えたご資金

リフォーム資金
平均201万円



介護費用

月間 平均8.3万円
一時費用 平均74万円



その他にも…

ゆとりある生活
趣味の充実
海外旅行



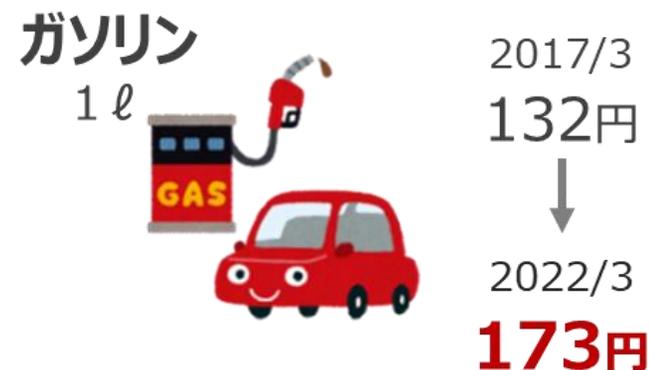
結婚資金や教育資金の援助



（出所）リフォーム資金：国土交通省「令和3年度住宅市場動向調査」、介護費用：生命保険文化センター「2021（令和3）年度 生命保険に関する全国実態調査」

豊かな人生を送るために～（ご参考）インフレと資産価値

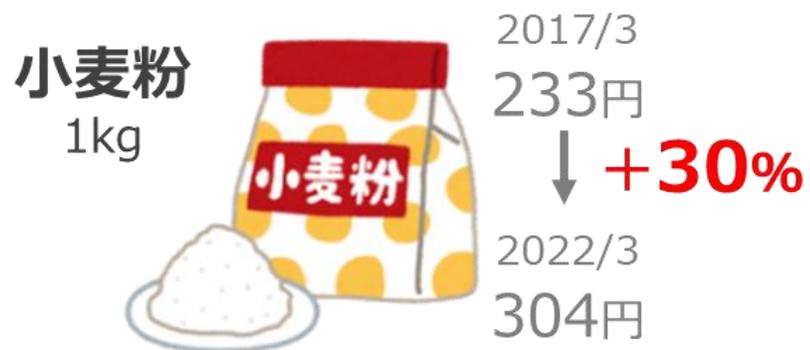
身近な商品の価格上昇（東京都区部）



（出所）総務省 小売物価統計調査 東京都区部

豊かな人生を送るために～（ご参考）インフレと資産価値

身近な商品の価格上昇（東京都区部）

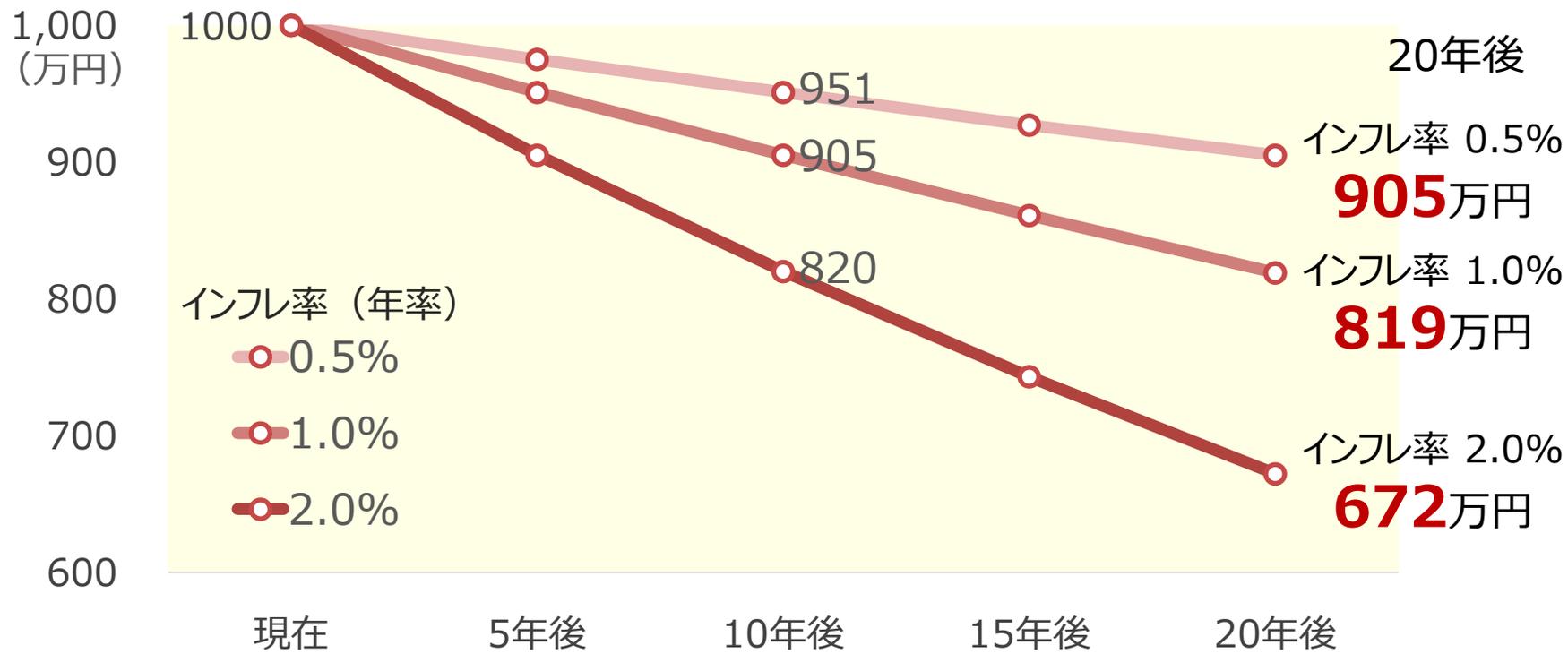


（出所）総務省 小売物価統計調査 東京都区部

豊かな人生を送るために～（ご参考）インフレと資産価値

インフレの状況下では、モノの値段に対してお金も増やさなければ、**資産価値は目減り**してしまいます。**「インフレから資産を守る」**ためにも、資産運用が必要とされています。

インフレ率別・資産価値の推移



※上記はシミュレーションであり、将来の結果を示唆・保証するものではありません。

ファンドラップとは

「ファンドラップ」とは、

値動きの異なる複数の投資信託(ファンド)を
ひとつに包んで(ラッピングして)、

その運用・管理を

専門家に任せることができる

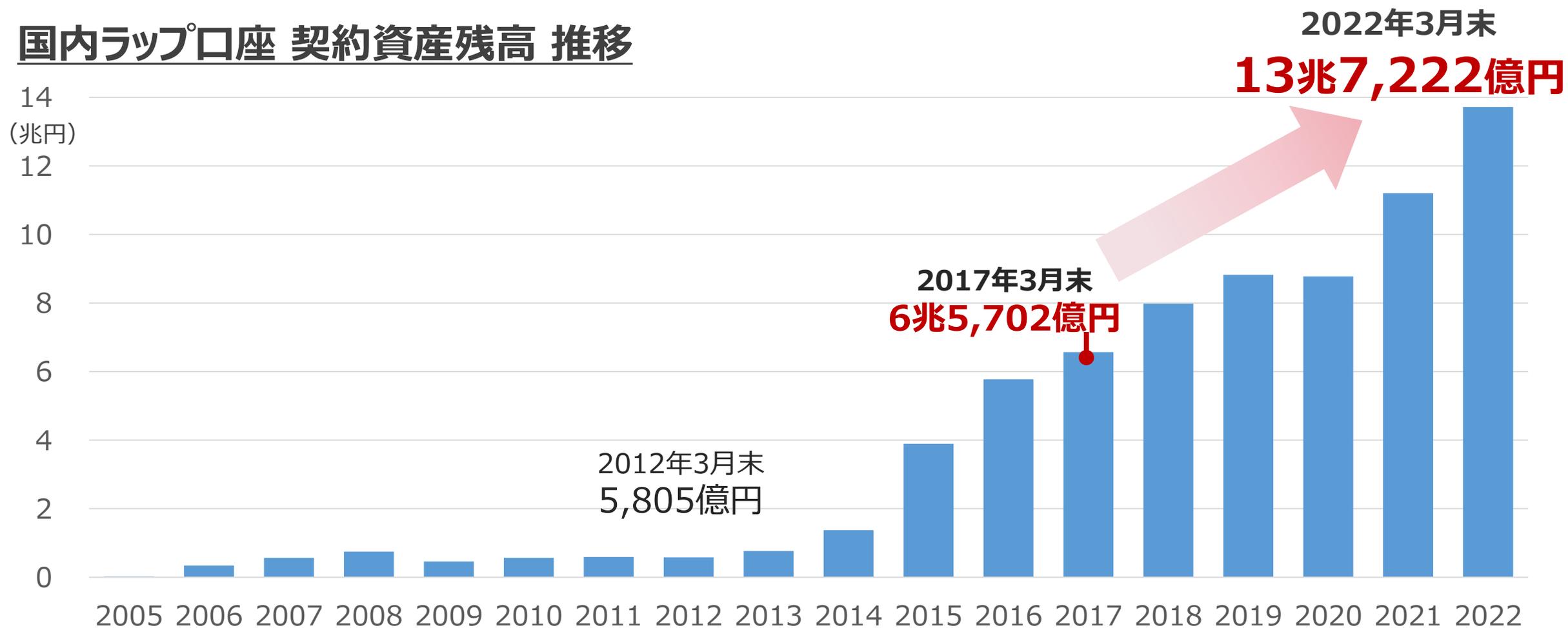
新しい資産運用サービスです。



ファンドラップの投資対象イメージ

残高を拡大するファンドラップ

国内ラップ口座 契約資産残高 推移



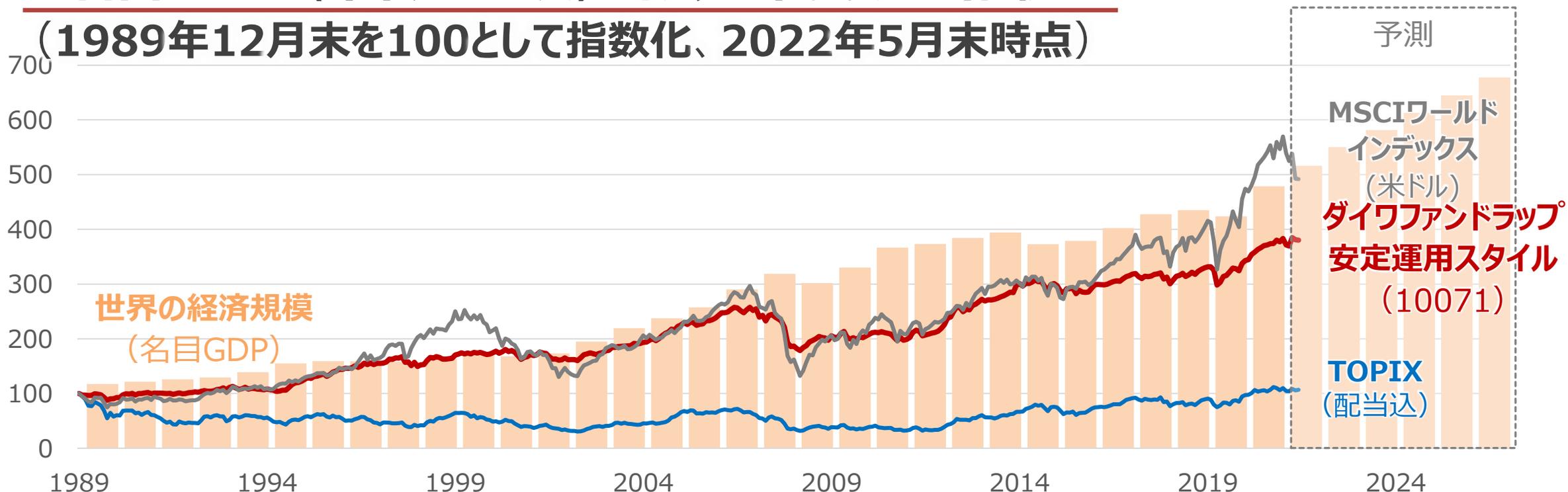
※各年3月末時点

(出所) 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料 (2022年3月末時点) より、大和証券作成

国際分散投資の意義

名目GDP（米ドルベース）とファンドラップの推移

（1989年12月末を100として指数化、2022年5月末時点）



※名目GDP、MSCIワールドインデックス（米ドル）、TOPIX（配当込）、ダイワファンドラップ安定運用スタイル（10071）は1989年末を100として指数化表示。

※ダイワファンドラップ安定運用スタイル（10071）のグラフは、同じ配分比率のスタイルである、旧ダイワファンドラップの安定運用スタイル（0031）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、安定運用スタイル（0031）は現在新規契約でのお取り扱いはございません。一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行なった場合、運用コスト等は考慮していません。当資料は、2007年10月までは、インデックスと当初の配分比率、2007年11月以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ専用投資信託の基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後予告なく変更することがあります。ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。※当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイ・ボンド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数。

※データ出所：Bloomberg、Factset、IMF WEO 2022年4月。IMFの予測も含まれます。

「国際分散投資効果」の有効性①

過去12年間の各資産の単年ベースの騰落率 (円ベース、年末値比較)

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
J-REIT 34%	日本債券 2%	J-REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	J-REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%
外国REIT 6%	外国債券 0%	外国REIT 39%	日本株式 54%	J-REIT 30%	外国REIT 2%	J-REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	J-REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%
分散投資 5%	外国REIT -2%	外国株式 32%	J-REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%
コモディティ 4%	分散投資 -9%	分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%
日本債券 2%	外国株式 -9%	日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	J-REIT 20%
日本株式 1%	コモディティ -12%	外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%
外国株式 -2%	日本株式 -17%	コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	J-REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%
外国債券 -13%	J-REIT -22%	日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	J-REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	J-REIT -13%	日本債券 0%

分散投資 = 各資産に等金額投資をした国際分散投資

〈各資産インデックス詳細〉日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、J-REIT：東証REIT指数（配当込）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）、コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”*）

*「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。その他のご留意事項につきましては、巻末の「お取引にあたっての手数料等およびリスクについて」をご覧ください。

「国際分散投資効果」の有効性①

過去12年間の各資産の単年ベースの騰落率 (円ベース、年末値比較)

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
J-REIT 34%	日本債券 2%	J-REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	J-REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%
外国REIT 6%	外国債券 0%	外国REIT 39%	日本株式 54%	J-REIT 30%	外国REIT 2%	J-REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	J-REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%
分散投資 5%	外国REIT -2%	外国株式 32%	J-REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%
コモディティ 4%	分散投資 -9%	分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%
日本債券 2%	外国株式 -9%	日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	J-REIT 20%
日本株式 1%	コモディティ -12%	外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%
外国株式 -2%	日本株式 -17%	コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	J-REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%
外国債券 -13%	J-REIT -22%	日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	J-REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	J-REIT -13%	日本債券 0%

分散投資 = 各資産に等金額投資をした国際分散投資

〈各資産インデックス詳細〉日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、J-REIT：東証REIT指数（配当込）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）、コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”*）

*「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資効果」の有効性①

過去12年間の各資産の単年ベースの騰落率 (円ベース、年末値比較)

累積リターン

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累積リターン
J-REIT 34%	日本債券 2%	J-REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	J-REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	外国株式 4.80 倍
外国REIT 6%	外国債券 0%	外国REIT 39%	日本株式 54%	J-REIT 30%	外国REIT 2%	J-REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	J-REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	外国REIT 4.24 倍
分散投資 5%	外国REIT -2%	外国株式 32%	J-REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	J-REIT 3.81 倍
コモディティ 4%	分散投資 -9%	分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本株式 2.85 倍
日本債券 2%	外国株式 -9%	日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	J-REIT 20%	分散投資 2.63 倍
日本株式 1%	コモディティ -12%	外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 1.63 倍
外国株式 -2%	日本株式 -17%	コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	J-REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	コモディティ 1.21 倍
外国債券 -13%	J-REIT -22%	日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	J-REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	J-REIT -13%	日本債券 0%	日本債券 1.20 倍

分散投資 = 各資産に等金額投資をした国際分散投資

〈各資産インデックス詳細〉日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、J-REIT：東証REIT指数（配当込）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）、コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”*）

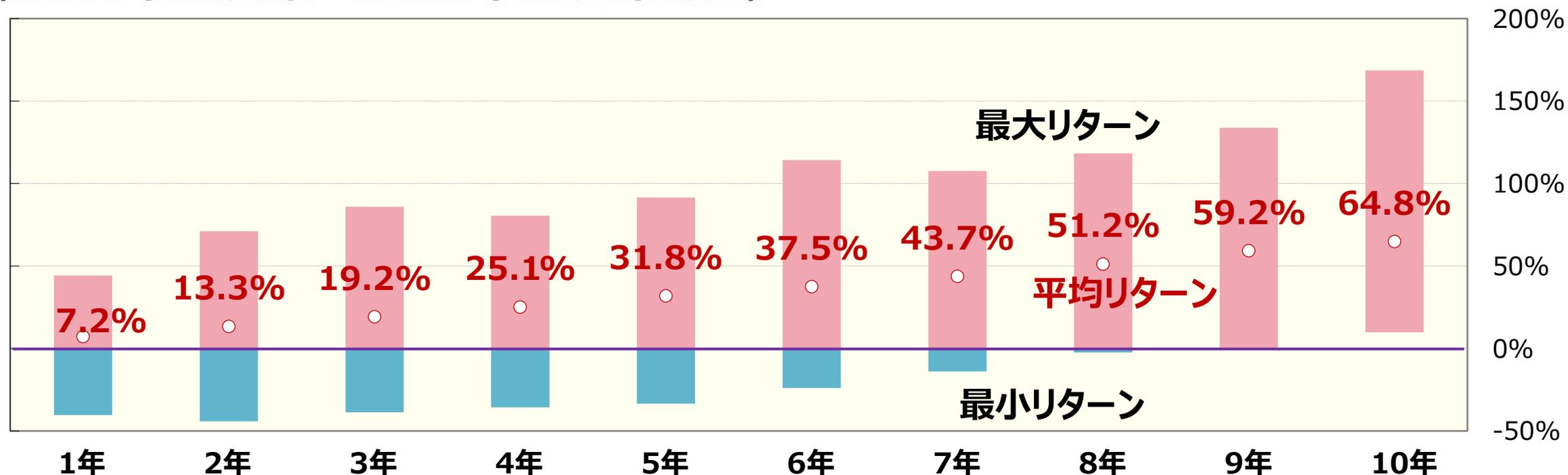
*「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。その他のご留意事項につきましては、巻末の「お取引にあたっての手数料等およびリスクについて」をご覧ください。

「国際分散投資効果」の有効性②

国際分散投資と長期投資の親和性

(1994年12月末～2021年12月末時点)



計算期間：1994年末～2021年末。上記シミュレーションは、データ期間中の毎月運用スタートし、該当の年数運用したときのリターンを示したものです。

運用にかかるコスト等は考慮していません。国際分散投資は月次でリバランスを実施したと仮定しています。

※ 国際分散投資（6資産均等投資）・・・日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：DBI総合、
外国債券：FTSEWGBI（日本を除く）、外国REIT：S&P先進国REIT指数 TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数（配当込）。 データ出所：Bloomberg

長期チャート 1969年末からの各資産と分散投資の推移

各資産、4資産均等保有、ダイワファンドラップ[®] 安定運用スタイル（10071）の推移



安定運用スタイルは、一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。4資産均等保有は内外株式・債券を均等に投資し、保有し続けた場合（リバランスなし）。運用コスト等は考慮していません。・当資料は、インデックスと現在の配分比率を用いて計算したもので、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。・ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。日本REITは03年3月以前、外国REITは89年7月以前はそれぞれ、日本株式、外国株式として計算しています。当資料において使用するインデックスは、次の通りです。日本株式：TOPIX（89年以降は配当込）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（80年12月までは金利推移から推計）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（※）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（日本を除く）（85年以前は米国債利回り・為替推移から推計）（※※）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（日本を除く、配当込）、J-REIT：東証REIT指数（配当込）、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数（98年8月以降はRICI指数）、外国株式（為替ヘッジ有り）：MSCIコクサイ・インデックス（米ドルベース）と日米短期金利差より推計、外国債券（為替ヘッジ有り）：FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ指数）（85年1月までは米国債利回り・日米短期金利差からの推計）、外国REIT（為替ヘッジ有り）：S&P先進国REIT指数（日本を除く米ドルベース指数、配当込）と日米短期金利差から推計 ※各スタイルの計算において、スタイルによっては、MSCIマーキング・マーケット・インデックス又はFTSE RAFI マーキング・インデックスとの合成指数を用いている場合があります。 ※※各スタイルの計算において、スタイルによっては、JPETカン・EMBIGローバル・ダイバーシファイド 指数又はJPETカン・GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド 指数との合成指数を用いている場合があります。 データ出所：Bloomberg、Factset、モーニングスター

長期チャート 1969年末からの各資産と分散投資の推移

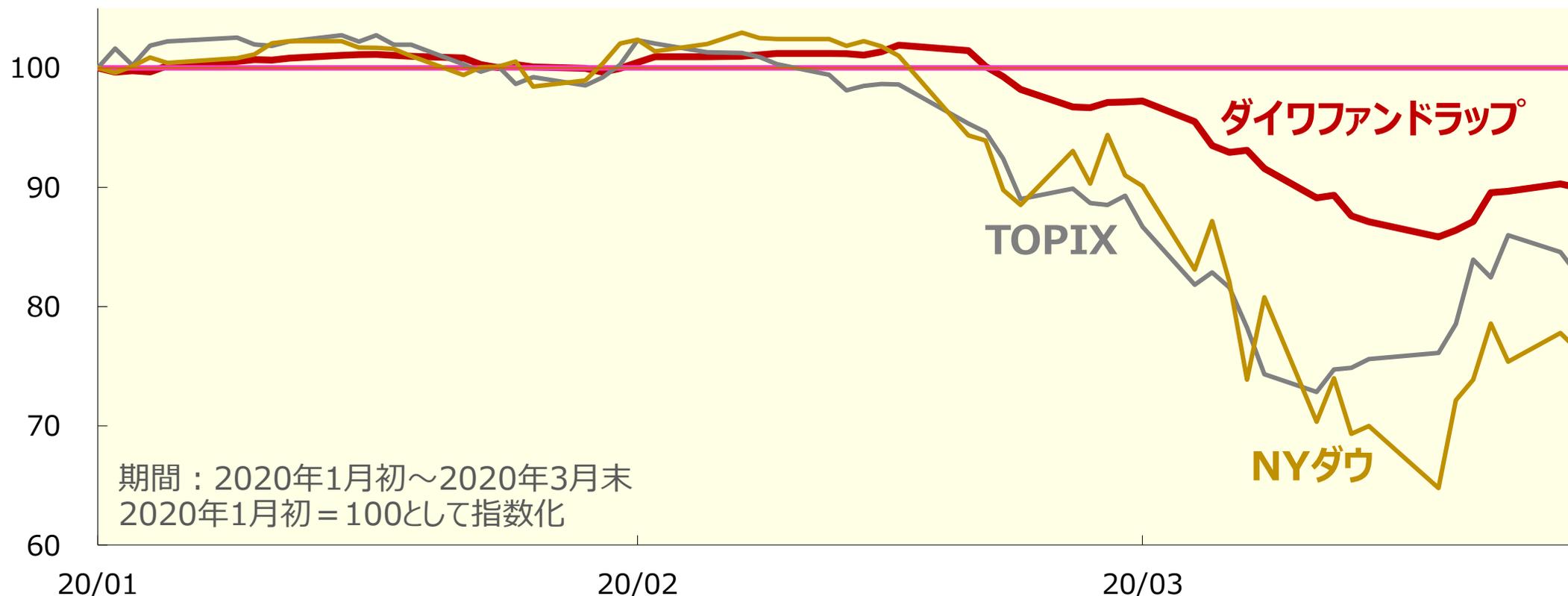
各資産、4資産均等保有、ダイワファンドラップ[®] 安定運用スタイル（10071）の推移



安定運用スタイルは、一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。4資産均等保有は内外株式・債券を均等に投資し、保有し続けた場合（リバランスなし）。運用コスト等は考慮していません。・当資料は、インデックスと現在の配分比率を用いて計算したもので、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。・ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。日本REITは03年3月以前、外国REITは89年7月以前はそれぞれ、日本株式、外国株式として計算しています。当資料において使用するインデックスは、次の通りです。日本株式：TOPIX（89年以降は配当込）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（80年12月までは金利推移から推計）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス(※)、外国債券：FTSE世界国債インデックス（日本を除く）（85年以前は米国債利回り・為替推移から推計）(※※)、外国REIT：S&P先進国REIT指数（日本を除く、配当込）、J-REIT:東証REIT指数（配当込）、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数（98年8月以降はRICI指数）、外国株式（為替ヘッジ有り）：MSCIコクサイ・インデックス（米ドルベース）と日米短期金利差より推計、外国債券（為替ヘッジ有り）：FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ指数）（85年1月までは米国債利回り・日米短期金利差からの推計）、外国REIT（為替ヘッジ有り）：S&P先進国REIT指数（日本を除く米ドルベース指数、配当込）と日米短期金利差から推計 ※各スタイルの計算において、スタイルによっては、MSCIマーキング・マーケット・インデックス又はFTSE RAFI マーキング・インデックスとの合成指数を用いている場合があります。 ※※各スタイルの計算において、スタイルによっては、JPレバレッジ・グローバル・ダイバーシファイド・インデックス又はJPレバレッジ・グローバル・ダイバーシファイド・インデックスとの合成指数を用いている場合があります。 データ出所：Bloomberg、Factset、モーニングスター

ご参考 「投資は株式だけ」で良い…？

TOPIX、NYダウ（米ドル建）、ダイワファンドラップ[®]（安定運用スタイル）の値動き



※ 株価や為替が基準価額に反映されるまでにタイムラグがあるため、選択されたファンドの基準価額反映日と必ずしも一致していません。

- 上記のパフォーマンスは、各月末時点における各スタイルの基準配分比率と選択されたファンドの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。
- パフォーマンス測定には、各ファンドの分配金修正済み基準価額を用い、ファンドラップフィー・税金は考慮していません。データ出所：Bloomberg

ご参考 「投資は株式だけ」で良い…？

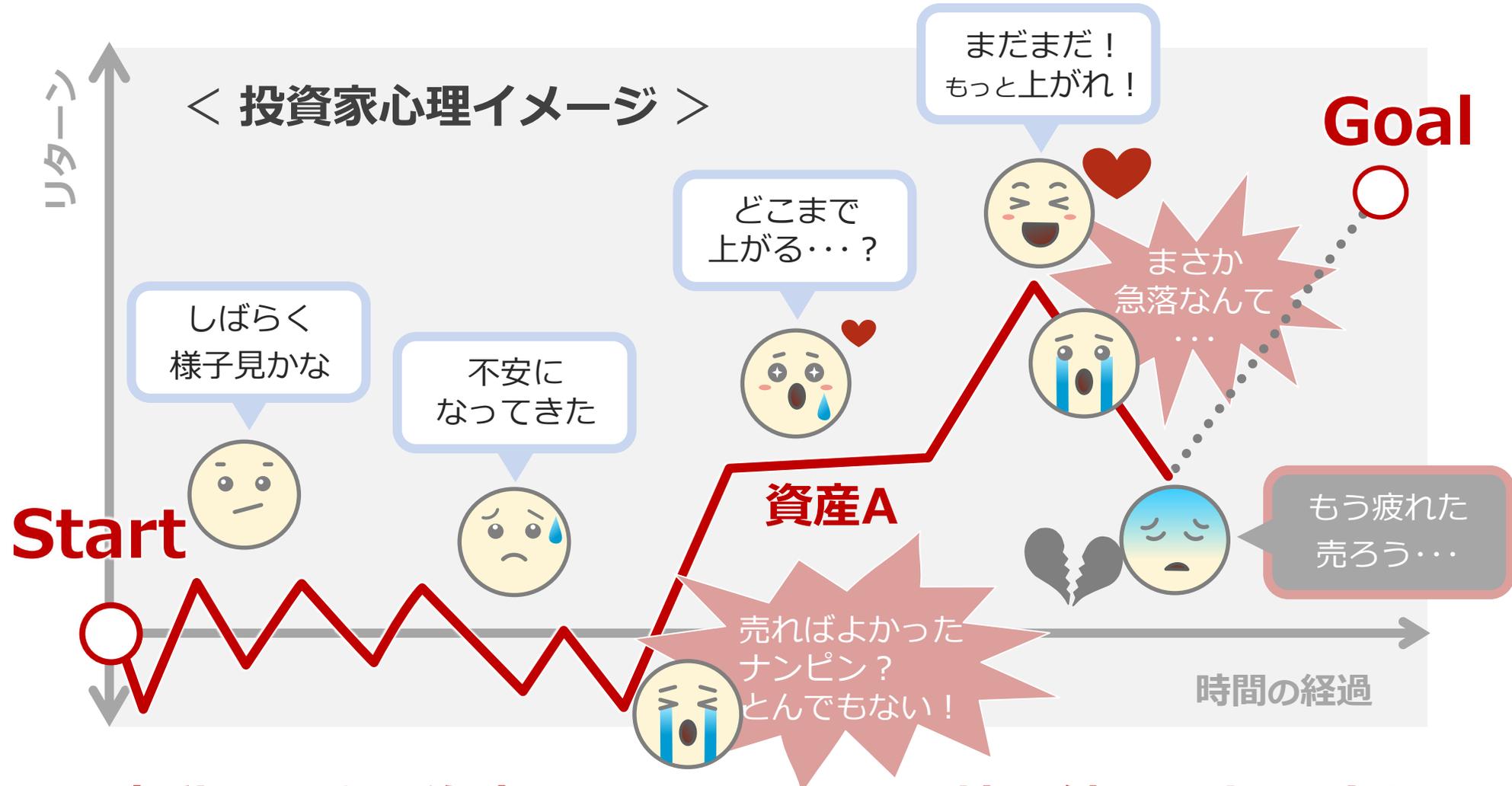
TOPIX、NYダウ（米ドル建）、ダイワファンドラップ[®]（安定運用スタイル）の値動き



※ 株価や為替が基準価額に反映されるまでにタイムラグがあるため、選択されたファンドの基準価額反映日と必ずしも一致していません。

- 上記のパフォーマンスは、各月末時点における各スタイルの基準配分比率と選択されたファンドの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。
- パフォーマンス測定には、各ファンドの分配金修正済み基準価額を用い、ファンドラップフィー・税金は考慮していません。データ出所：Bloomberg

ご参考 人の心は繊細 ～資産運用を続けていくために重要なこと～



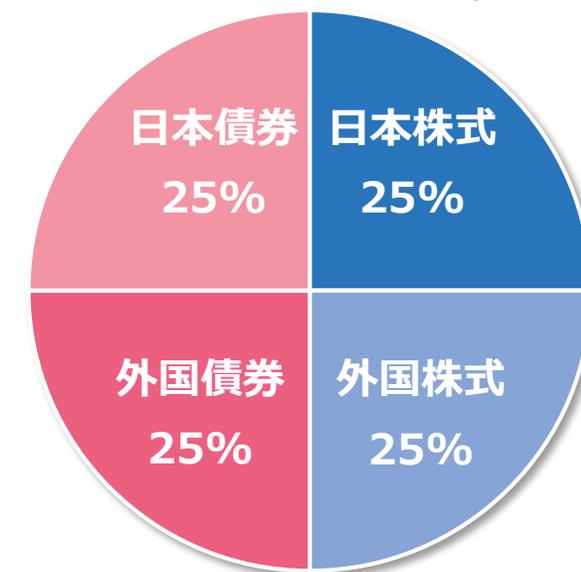
変動が大きい資産A Goal (高値) まで持ち続けられますか？

公的年金に学ぶ運用術

GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人)の運用状況 (市場運用開始以降)



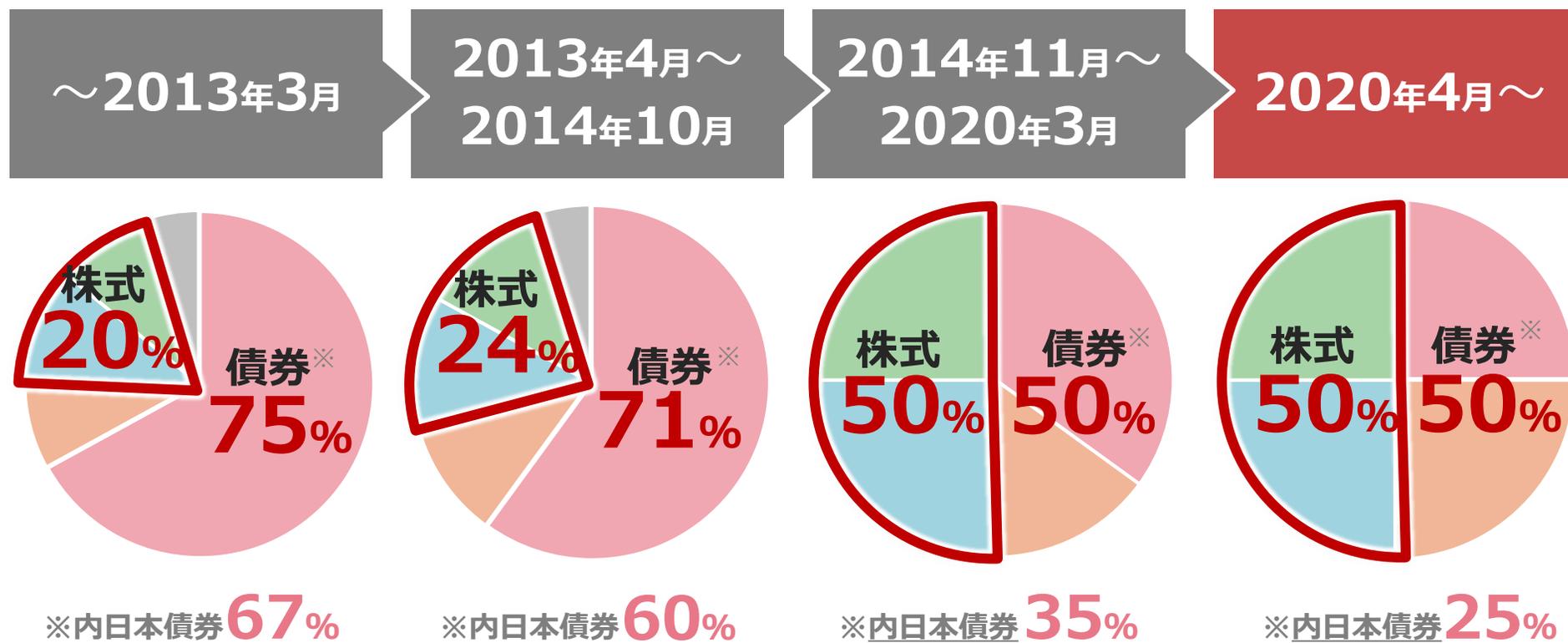
基本ポートフォリオ
(2020年4月～)



(出所) 年金積立金管理運用独立行政法人「2021年度第3四半期運用状況 (速報)」より大和証券作成

公的年金に学ぶ運用術

GPIFは、状況に応じてポートフォリオの見直しをしています。



債券 [■ 日本債券 ■ 外国債券] 株式 [■ 日本株式 ■ 外国株式] ■ 短期資産

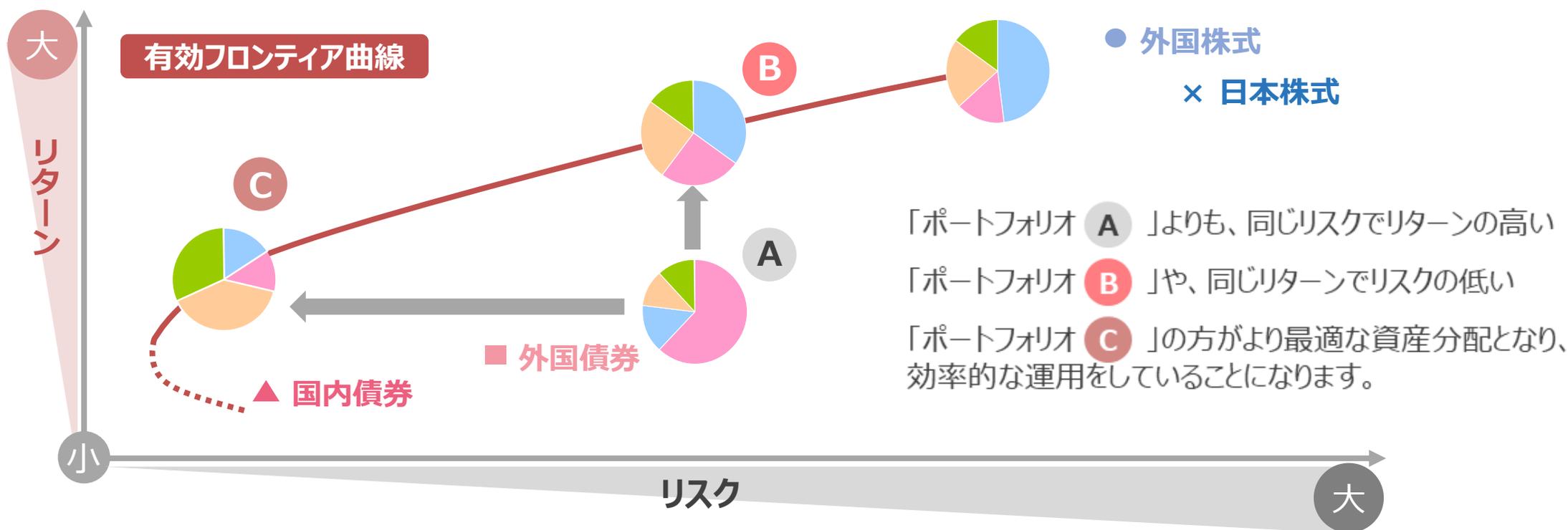
(出所) 年金積立金管理運用独立行政法人 ホームページより大和証券作成

ポートフォリオ運用の考え方

それぞれの資産クラスのリスクとリターンは異なります。複数の資産を同時に保有する組合せは無数に存在しますが・・・

- ① 同じリスクであれば、リターンが最も大きい方が良い ② 同じリターンであれば、リスクが最も小さい方が良い

これらの条件を満たす組み合わせだけを集めたときに描かれるリスク・リターン曲線を「**有効フロンティア**」といいます。



有効フロンティア上にあるポートフォリオで運用することが最も効率的です

6つのプロセスを通じた資産管理

6 契約内容の見直し

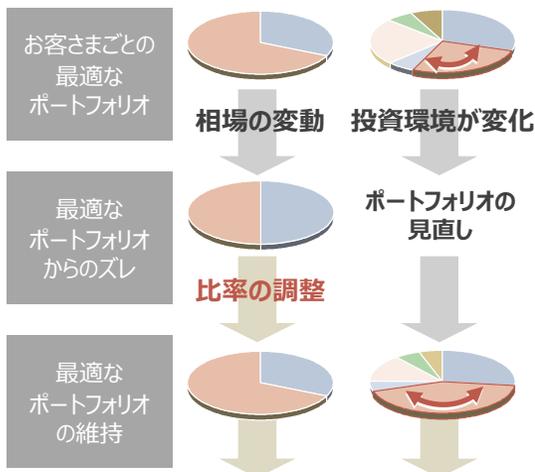
投資に対するお考えが変わった時など
運用スタイルを変更できます

5 運用報告書

定期的な運用報告書



4 投資一任契約に基づいた運用の実行



1 投資方針のご確認

2 運用スタイルのご提案

3 投資一任契約の締結

4 投資一任契約に基づいた運用

6 契約内容の見直し

5 定期的な運用報告

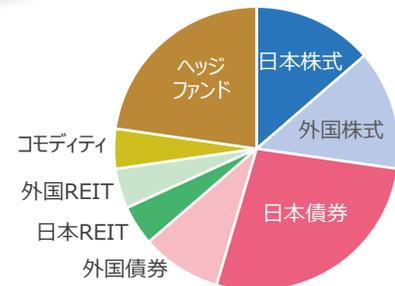
6つの
プロセス

1 投資方針のご確認

お客さま毎に運用に対する
ご意向をお伺いいたします



2 運用スタイルのご提案



3 投資一任契約の締結

投資方針のご確認

ダイワファンドラップでは「ヒアリングシート」の質問項目にご回答いただくことにより、多彩な運用スタイルラインナップの中から、**お客さま一人ひとりに最適な運用スタイル**をご提案いたします。

「ヒアリングシート」イメージ

Daiwa Fund Wrap Survey Sheet ダイワ ファンドラップ

Question 8 資金の金融資産全体に占める割合

「ダイワファンドラップ」にご投資を予定されている資金が、お客さまの金融資産全体に占める割合をお教えください。

1つご選択ください

- A. 1割未満
- B. 1割以上 3割未満
- C. 3割以上 5割未満
- D. 5割以上 7割未満
- E. 7割以上

Question 9 期待する運用成果

右記は、1,000万円を1年間投資した場合のポートフォリオの想定運用結果です。どのポートフォリオに魅力を感じますか？

※あくまでイメージとしてお示しするものであり、実際の運用成果を保証するものではありません。

1つご選択ください

- A. 960万円～1,080万円
- B. 920万円～1,140万円
- C. 870万円～1,210万円
- D. 820万円～1,290万円

sample

07

Daiwa Fund Wrap Survey Sheet ダイワ ファンドラップ

Question 10 リスクとリターンについてのお考え

「ダイワファンドラップ」のご投資におけるリスクとリターンについてのお考えに最も当てはまるものをお教えください。

1つご選択ください

- A. リスクは可能な限り抑えたいが、預貯金金利をやや上回るリターンは確保したい。
- B. ある程度のリターンを得るためには、多少のリスクなら許容できる。
- C. リスクとリターンのバランスを重視した運用を行いたい。
- D. 大きなリターンを得たいが、リスクが過大にならないようにしたい。
- E. 高いリスクを取ってでも、リターンの最大化を目指したい。

小 小
↑ ↓
リスク リターン
大 大

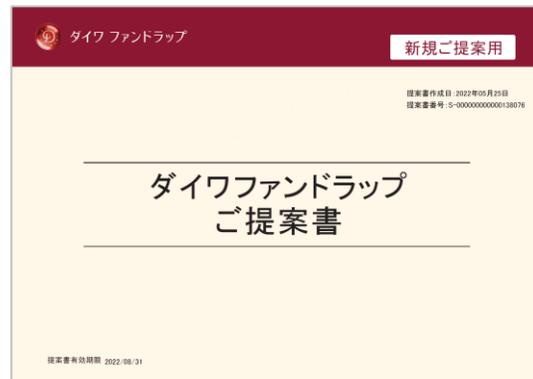
sample

08

運用スタイルのご提案

ダイワファンドラップでは「ヒアリングシート」の質問項目にご回答いただくことにより、多彩な運用スタイルラインナップの中から、**お客さま一人ひとりに最適な運用スタイル**をご提案いたします。

提案書のイメージ



はじめに > ご回答内容 > **配分比率** > シミュレーション > 投資対象銘柄 > 費用 > ご注意事項 > 契約締結前交付書面

ご提案する運用スタイルの資産配分比率

ご提案する運用スタイル **バランス運用スタイル(10073)**

投資予定金額 **5,000,000円**

資産配分比率
資産クラス
日本株式
外国株式(為替ヘッジなし)
日本債券
外国債券(為替ヘッジなし)
J-REIT
外国REIT(為替ヘッジなし)
コモディティ
ヘッジファンド
合計
円建て資産と外貨建て資産の内
円建て資産
外貨建て資産

【ご注意】
上記の資産配分比率はご提案時点のものであり、あくまで一つの目安としての配分比率となります。市場環境の変化等により、自動的に本運用スタイルの資産配分比率を変更するものではありません。また、ヘッジファンドについては計算対象外としております。

はじめに > ご回答内容 > 配分比率 > **シミュレーション** > 投資対象銘柄 > 費用 > ご注意事項 > 契約締結前交付書面

ご提案する運用スタイルの過去データによる運用イメージ

バランス運用スタイル(10073)

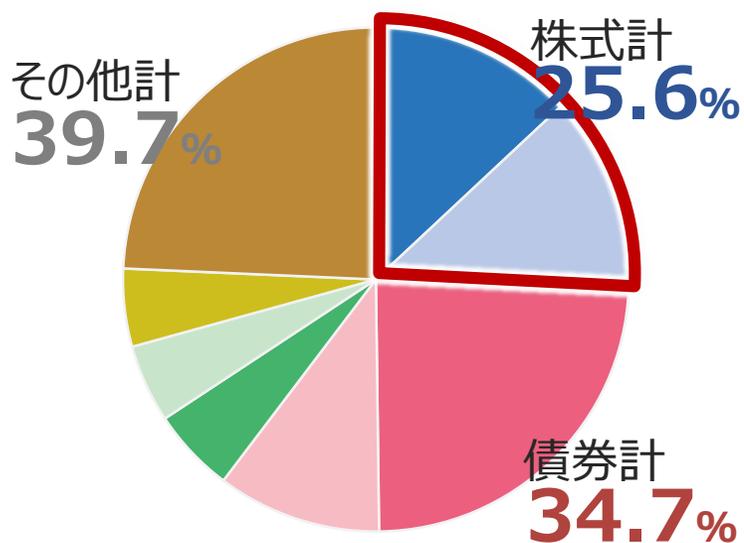
各資産とのパフォーマンス比較 (2003年03月末=100)

【ご注意】
上記は、過去の過去データを用いて作成したものです。「ダイワファンドラップ」では投資信託にて運用を行うため、お客さまの運用資産は投資対象となる投資信託の基準価額に基づいて変動するもの、記しはあくまでも参考です。お客さまの運用成果を保証するものではありません。また、上記は、手数料等の諸費用は考慮していません。

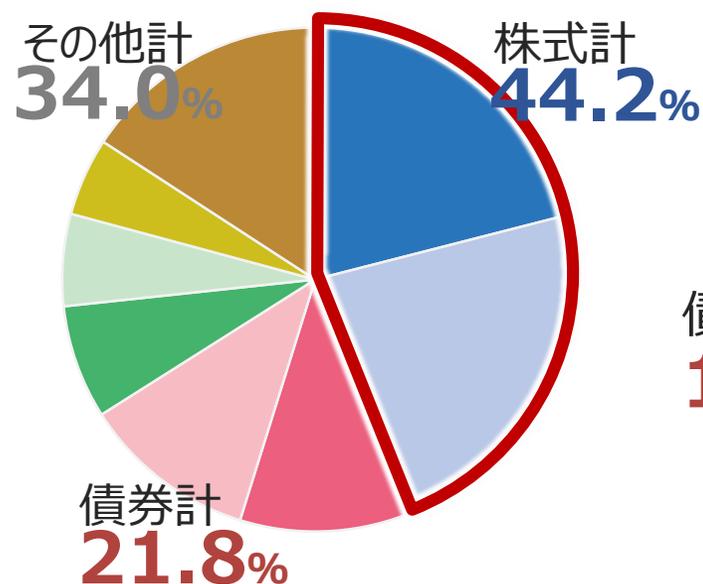
ダイワファンドラップのポートフォリオイメージ

主な運用スタイルの配分比率（2022年6月時点）

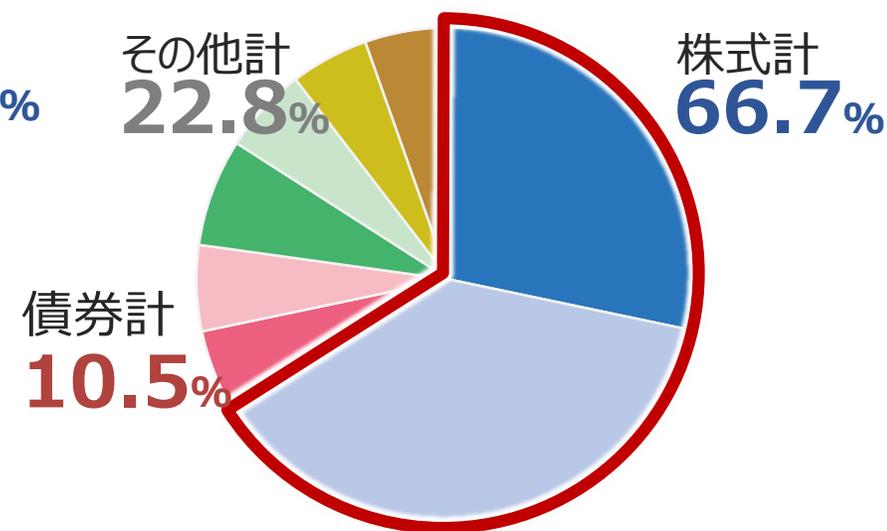
**安定運用スタイル
(10071)**
為替ハッジ無し RCH



**バランス運用スタイル
(10073)**
為替ハッジ無し RCH



**積極運用スタイル
(10075)**
為替ハッジ無し RCH



■ 日本株式 ■ 外国株式 ■ 日本債券 ■ 外国債券
■ 日本REIT ■ 外国REIT ■ コモディティ ■ ハッジファンド

※スタイル名のRCHは、
R：REIT、C：コモディティ、
H：ヘッジファンドを含むスタイルを示す

ご参考：主な運用スタイルのパフォーマンス

リーマンショック直前からのダイワファンドラップの推移

(2008年8月末を100として指数化、2022年5月末時点)



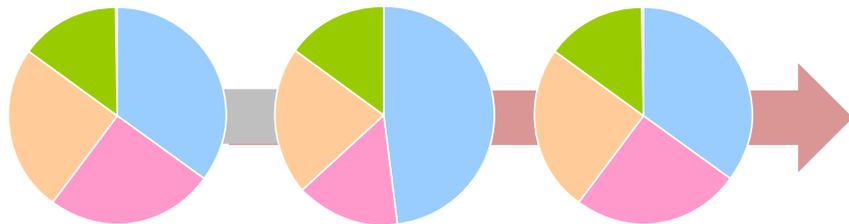
●上記のパフォーマンスは、現在の基準配分比率とインデックスなどを用いて一定の条件で計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、信託報酬やラップフィーなどは考慮していません。●各スタイルのパフォーマンス計算に用いた指数は、日本株：TOPIX(配当込み)、外国株式(為替ヘッジあり)：MSCIコクサイ・インデックス(米ドルベース) - 日米短期金利差、外国株式(為替ヘッジ無し)：MSCIコクサイ・インデックスもしくはMSCIコクサイ・インデックス及びFTSE RAFI EM指数(円換算)の合成指数(運用スタイルによって異なります)を使用、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス(DBI) 総合、外国債券(為替ヘッジあり)：FTSE世界国債インデックス(日本を除く、円ヘッジ指数)、外国債券(為替ヘッジ無し)：FTSE世界国債インデックス(日本を除く、円換算)もしくはFTSE世界国債インデックス(日本を除く、円換算)及びJPモルガンGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド指数(円換算)の合成指数(運用スタイルによって異なります)を使用、J-REIT：東証REIT指数(配当込み)、外国REIT(為替ヘッジあり)：S&P先進国REIT指数(日本を除くドルベース) - 日米短期金利差、外国REIT(為替ヘッジ無し)：S&P先進国REIT指数(日本を除く、円換算)、コモディティ：RICI指数(円換算)、ヘッジファンド：ダイワファンドラップヘッジファンドセレクト、●各スタイルのパフォーマンス計算を行うに当たり、外国株・外国債券・外国REIT・コモディティは前日の市場・当日の為替(TTM)を用いています。●比較用指数などは、日本国内のカレンダーベース(国内の祝日は反映されません)で作成しています。尚、投資信託の基準価額反映日と一致しない場合があります。●「Jim Rogers®」、「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers, Jim Rogers®またはBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。データ出所：Bloomberg

ダイワファンドラップのメンテナンス

ダイワファンドラップのメンテナンスとして、以下の2点があげられます

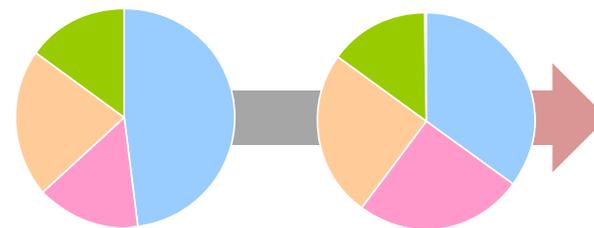
01 | リバランス

相場変動により当初の資産配分比率から一定比率乖離した場合、**当初の資産配分比率を維持するための売買**を行います。



02 | 基準配分比率の変更

相場環境やマーケット環境の変化に対応し、「**基準配分比率の見直し・変更**」を行います。



定期的な運用報告

3カ月に1度、運用報告書にて保有資産状況をお伝えいたします。

2019年11月30日現在
タイフ ファンドラップ
運用報告書 第 4 回 投資報告書

5 ご契約資産の構成比率

資産クラス別構成比率(ご契約全体)

資産クラス	評価金額	構成比率 [※]
(01) 日本株式	13,182,777円	24.3%
(02) 外国株式 (為替ヘッジあり)	3,484,243円	6.4%
(03) 外国株式 (為替ヘッジなし)	6,496,284円	11.9%
(04) 日本債券	19,446,930円	35.8%
(05) 外国債券 (為替ヘッジあり)	4,736,400円	8.7%
(06) 外国債券 (為替ヘッジなし)	3,331,234円	6.1%
(07) J-R E I T	864,853円	1.5%
(08) 外国R E I T (為替ヘッジあり)	249,572円	0.4%
(09) 外国R E I T (為替ヘッジなし)	683,728円	1.2%
(10) ヘッジファンド	1,693,722円	3.1%
合計	58,553,247円	100.0%

※ 構成比率について、表示上端数の切捨て処理を行っているため、個々の資産クラスの比率の合計が100%にならない場合があります。

sample 大和証券株式会社
202007131 A11700 000002 00007/00034

2019年11月30日現在
タイフ ファンドラップ
運用報告書 第 4 回 投資報告書

6 運用口別運用実績等 (1)

運用実績(今回のご報告期間)
ご報告期間: 2019年9月26日~2019年11月30日

	運用口1 安定運用スタイル (10041)	運用口2 やや安定運用スタイル (11602)	運用口3 積極運用スタイル (11605)
前のご報告の資産評価額 (A)	0円	0円	0円
今のご報告の資産評価額 (B)	13,366,717円	13,029,052円	11,971,194円
資産増減額 (3ヶ月) (C = B - A)	13,366,717円	13,029,052円	11,971,194円
契約資産へのご入金金額合計 (3ヶ月) (D)	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円
契約資産からのご出金額合計 (3ヶ月) (E)	0円	0円	0円
契約金額の減額 (累計)	0円	0円	0円
定期受取サービスによる受取金額 (累計)	0円	0円	0円
寄附サービスによる金額 (累計)	0円	0円	0円
投資金額 (F = D - E)	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円
損益額 (3ヶ月) (C - E)	3,366,717円	3,029,052円	1,971,194円
運用実績収益率			
今回のご報告期間 (2019/9~2019/11)	+33.9%	+30.6%	+20.0%
月次			
2019/9	+9.4%	+16.8%	+24.3%
2019/10	+22.4%	+11.9%	▲3.4%
2019/11	+0.0%	+0.0%	+0.0%

※各期間の運用収益率は、それぞれ日々の収益率を表示期間に合わせて累積したものです。
※運用収益率には、契約資産外特徴収方式をご選択の上お支払いいただいた場合のファンド
ラップ・フィー(新規契約・増額・運用口追加時は除く)は、考慮されておりません。

sample 大和証券株式会社
202007131 A11700 000002 00008/00034

ダイワファンドラップ[®] 充実のソリューションサービス

さまざまなニーズにお応えする充実のソリューションサービス



計画的な取り崩しに「定期受取サービス」

運用しながら計画的にご資金をお受取りいただける、「定期受取サービス」をご利用いただけます。
お受取り回数は、毎月・奇数月・偶数月・3ヶ月ごと・半年ごと・1年ごとよりお選びいただけます

例えばこんな使いかた…

例) 年金を補完しながら受け取りたい (隔月受取)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金	約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金	約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金	約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金	約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金	約10万円  年金補完に	 年金手帳 公的年金

例) 定期的な資金ニーズにそなえたい (6ヶ月ごと受取)

約60万円  年始のご準備に 	約60万円  ご旅行に 
--	---

※ 本サービスのご利用条件の詳細は大和証券の本・支店にお問合わせください

万が一の相続対策もダイワファンドラップで安心

1 相続発生時には現金化されます (分かりやすく、のこせます)

現金でのご相続となりますので、**分割しやすく、分かりやすく**のこすことができます
相続税納税資金としてもご利用いただけます



2 相続時受取人指定サービス (名前をつけて、のこせます)

“のこしたい”人を**あらかじめ指定**することができます
簡単なお手続きで、現金のお受取ができます



3 暦年贈与サービス (譲りながら、のこせます)

暦年課税制度の条件を満たすようサポートします
保有財産の成長を図りつつ、生前贈与が行なえます



※ 各サービスのご利用条件の詳細は大和証券の本・支店にお問合わせください

複数運用口を活用してこんな使い方

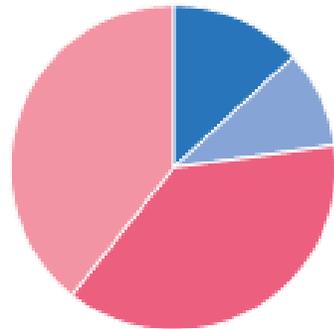
“つかう”、“そなえる”、“のこす”…お客さまご自身の目的に応じた使い分けを可能にします。

例えば
こんなお客さま

- 退職金などで**セカンドライフに備える**資産運用に関心。
- **セカンドライフを充実させたい**と考えている。

お客さまのライフプランごとの資産形成プラン

<イメージ>



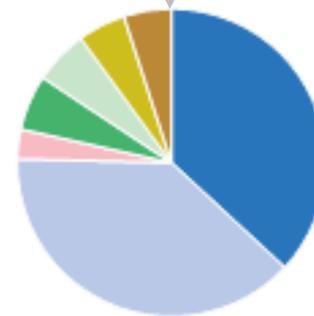
3年後の
お子さまの学費

より安定



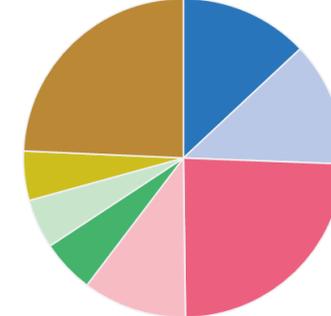
5年後の
リフォーム費用

バランス



15年後の
夫婦で海外旅行

より積極



20年後の
老人ホーム費用

安定

「投資信託・ラップ+円定期預金セットプラン」のご紹介

セットプラン

投資信託・ラップ+円定期預金セットプラン
金利上乘せサービス

対象商品を1,000万円以上ご購入（またはご契約）いただくと同時に、大和証券の本・支店で大和ネクスト銀行の円定期預金（3カ月もの）のお申込みをいただいたお客さまを対象として、円定期預金の金利を優遇いたします。

プラン	円定期預金 (10万円以上) (上限5億円)	対象商品 (1,000万円以上) 大和証券指定の投資信託 ダイワファンドラップ ダイワアドバンスラップ	3カ月 年 7.0% (税引後 年5.577%)
2:1 プラン			
1:1 プラン			

対象商品を1,000万円以上ご購入（またはご契約）いただくと同時に、大和証券の本・支店で大和ネクスト銀行の円定期預金（3カ月もの）のお申込みをいただいたお客さまを対象として、円定期預金の金利を優遇させていただくサービスです。

詳細なお申込み条件については次ページをご覧ください。

- 上記金利の適用は、当初お預入期間（3カ月）のみとなり、初回満期日以降の利息は、満期時「自動解約」の場合、大和ネクスト銀行所定の円普通預金金利、満期時「自動継続」の場合、満期日（継続日）当日の同一期間の大和ネクスト銀行所定の円定期預金金利（通常金利）が適用されます。● 2022年6月23日時点の円定期預金の通常金利：3カ月 個人 年0.05%（税引後 年0.039%）、法人 年0.005%（税引前）。● やむを得ず中途解約する場合は、大和ネクスト銀行所定のお手続きが必要です。中途解約された場合、上記金利は適用されず、お預入日から解約日まで、大和ネクスト銀行所定の中途解約利率が適用されます。● 税引後の利率は復興特別所得税を加味した税率（20.315%）をもとに算出しています。法人のお客さまの預金利息については地方税の特別徴収は行なわないため、国税15.315%のみ源泉徴収いたします（非課税法人を除く）。● 円定期預金3カ月（90日で試算）預入金額1,000万円のお受取利息の計算例「2：1プラン」 $1,000万円 \times 7.0\% \times 90日 \div 365日 \times 79.685\% = 約137,538円$ 、「1：1プラン」 $1,000万円 \times 4.0\% \times 90日 \div 365日 \times 79.685\% = 約78,593円$ ● 最新の通常金利、中途解約利率は、大和ネクスト銀行のホームページまたは、大和証券の本・支店にてご確認ください。

基準日：2022年6月23日

「投資信託・ラップ+円定期預金セットプラン」のご紹介

セットプランのご利用条件①

対象商品	「大和証券指定の投資信託」※1または「ダイワファンドラップ」「ダイワ アドバンスラップ」※2
対象となるお客さま	「ダイワのツインアカウント」をお持ちの個人・法人のお客さま（金融機関等は対象外です）
お取扱窓口	大和証券の本・支店にてお申込みください。インターネットおよびコンタクトセンターでは受付けておりません。
適用条件	<p>下記、①および②の条件に該当する場合</p> <p>① 同一の「対象商品」を1,000万円以上ご購入またはご契約</p> <p>② ①と同時に大和ネクスト銀行の円定期預金を10万円以上かつ、〈「1：1プラン」の場合〉①の金額以下のお申込み（上限10億円）〈「2：1プラン」の場合〉①の金額の50%以下のお申込み（上限5億円）</p> <p>＜対象商品が「投資信託」の場合＞</p> <p>同日の注文受付であれば、複数の投資信託のご購入金額（購入時手数料（税込）含む）の合計が1,000万円以上であれば対象となります（「NISA口座」にてご購入された場合も含む）。金額指定注文のみが対象です。</p> <p>同日の注文時限以降の注文は翌営業日の受付となるため、同日のご購入金額には合算できません。「投信積立サービス」「NISA投信積立」「つみたてNISA」「投信フレックスプラン」にてご購入いただいた金額は対象外です。</p> <p>＜対象商品が「ダイワファンドラップ」「ダイワ アドバンスラップ」の場合＞</p> <p>円定期預金の預入金額の上限は、〈「1：1プラン」の場合〉10億円から対象商品の契約済残高（すでに契約済の対象商品の合計残高（本セットプランお申込日の前営業日時価評価額））および運用開始前契約済残高（運用開始日が到来していない対象商品のうち、セットプランを利用した契約済金額）を差引いた金額〈「2：1プラン」の場合〉「1：1プラン」における預入金額上限の50%とします。</p>
円定期預金の預入日	「投資信託」をご購入する場合：受渡日※の翌営業日 ※ 同日に複数の投資信託をご購入いただいた場合は、最後に到来する投資信託の受渡日。 「ダイワファンドラップ」「ダイワ アドバンスラップ」をご契約する場合：運用開始日

※1 大和証券指定の投資信託の詳細は、大和証券の本・支店にお問合わせください。なお、ETF等の上場投資信託およびノーロードの投資信託等は含まれません。

※2 ダイワファンドラップは、安心つながる特約、プレミアム特約をお申込みの場合も含まれます。プレミアム特約をお申込みの場合、本セットプランは、運用口単位でのお申込みとなります。

「投資信託・ラップ+円定期預金セットプラン」のご紹介

セットプランのご利用条件②

対象となるご資金

①ご購入日またはご契約日の前月1日以降、円定期預金の預入日の前営業日まで（以下、「適用期間」）にご入金※1したご資金
②適用期間に満期日を迎えた大和ネクスト銀行円定期預金の満期金
③適用期間に償還日※2を迎えた個人向け国債、事業債など円建て債券の償還金※2
ただし、①～④の金額は差し引きます。①適用期間中の円貨・外貨でのご出金、他社への有価証券の預け替え時点での時価相当額、②適用期間中に既にセットプランで利用された金額、③「ダイワファンドラップ」「ダイワアドバンスラップ」にてセットプランをお申込みする場合、契約日の過去1年以内に行なわれたセットプランを利用する当該商品の解約（契約終了・減額・運用口削除・スタイル削除）金額の合計額、④「投資信託」にてセットプランをお申込みする場合、セットプランの対象商品として購入する投資信託と同一投資信託*の2022年2月15日以降の換金金額の合計額。
*複数コース（「為替ヘッジあり」コースと「為替ヘッジなし」コース等）がある場合は合算。
※1 ご入金には、外貨でのご入金、有価証券の相続・他社からの預け替え時点での時価相当額を含みます。その他、別途大和証券が入金に準ずると認めた場合を含みます。※2 償還日・償還金には、大和証券が償還日・償還金に準ずると認めた場合を含みます。

その他ご留意事項

●本セットプランを利用した円定期預金は、各プランごと3カ月の円定期預金のみ、ご購入またはご契約いただいた対象商品毎にお申込みいただけます。なお、円定期預金のお預入日以降にプランの変更はできません。●ご利用条件の精査の結果、当初お申込みいただいた円定期預金の一部または全部に本セットプランの上乗せ金利が適用できない場合があります。その場合においてもご購入いただいた投資信託の注文の取り消し、「ダイワファンドラップ」「ダイワアドバンスラップ」の運用の中止をすることはできません。●「ダイワファンドラップ」「ダイワアドバンスラップ」について、ご契約が成立しなかった場合や運用開始前にご契約を取り消された場合は、円定期預金のお申込みも無効となります。●「投資信託」には、ご注文をお受けできない日があります（ファンド休業日）。各投資信託の休業日や受渡日は各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。●大和ネクスト銀行では、現金でのお預入れ、払戻しは取扱っておりません。大和ネクスト銀行への送金（振込）に際しては、お取扱い金融機関所定の手数料がかかります。また、大和証券の総合取引口座へご入金いただくと、翌営業日に大和ネクスト銀行円普通預金口座へスウィープ（自動振替）されます。●過去のお取引状況等に鑑み、本セットプランのご利用をお断りする場合があります。●本セットプランの内容は、予告なく変更・中止する場合があります。●本セットプランをご利用のご資金は、大和証券または大和ネクスト銀行が実施する他の金利優遇キャンペーン・サービスとの併用はできません。●大和証券グループの役職員、ならびに登録金融機関の金融商品仲介口座をご利用のお客さまは対象外です。●詳細は大和証券の本・支店までお問い合わせください。

ダイワのソリューションプラン「退職金プラン」のご紹介

ダイワのソリューションプラン
退職金プラン

1,000万円以上 10億円以下 の円定期預金お預入れ

3カ月定期 年**1.00%**
(税引後 年0.796%)

対象となるお客さま	「ダイワ・コンサルティング」コースの個人のお客さまのうち、大和証券指定のアンケートをご提出いただき、かつ、下記のいずれかに該当される方 ①退職日または退職金のお受取日から3年以内にお申込みされる方 ②確定拠出年金の老齢給付金の一時金（当社以外での裁定請求手続き分を含む）お受取日から3年以内にお申込みされる方
必要書類	①②共通…大和証券指定のアンケート（ご提出必須） ①の場合…退職時期を確認できる公的書類など（例：退職所得の源泉徴収票、任意継続健康保険証等） ②の場合…確定拠出年金の老齢給付金の一時金の受け取り時期を確認できる書類（例：給付金支払いのお知らせ等）
取扱窓口	大和証券の本・支店にてお申込ください ※インターネット、コンタクトセンターでは受付できません
預入金額	退職金資金にて、1,000万円以上 10億円以下
留意事項	本定期預金のお預入れは、お一人さま1回限り利用可能

（受取利息計算例）3カ月定期（90日の場合）預入金額1,000万円の場合 $1,000万円 \times 1.00\% \times 90日 \div 365日 \times 79.685\% = 約19,648円$ （税引後）

※月間の預入総額が100億円に達する見込となった場合等、翌月以降のお預入れとなる場合がございます。※上記金利は、当初お預入れ期間のみの適用となります。満期時「自動継続」の場合、初回満期日以降の利息は満期日（継続日）当日の同一期間の大和ネクスト銀行所定の円定期預金金利（通常金利）が適用されます。※やむを得ず中途解約する場合は、大和ネクスト銀行所定のお手続きが必要です。中途解約された場合、上記金利は適用されず、お預入日から解約日まで、大和ネクスト銀行所定の中途解約利率が適用されます。※2022年6月23日現在のダイワネクスト銀行の円定期預金の通常金利は、3カ月 年0.05%（税引後 年0.039%）です。最新の通常金利は、ダイワネクスト銀行ホームページまたは大和証券の本・支店にてご確認ください。

基準日：2022年6月23日

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等の諸費用について

- ・「ダイワファンドラップオンライン」にてお客さまにお支払いいただく費用（ファンドラップオンライン・フィー）は、契約資産の時価評価額に対して最大1.1%（年率・税込）となります。「ダイワファンドラップ」にてお客さまにお支払いいただく費用は、契約資産の時価評価額に対して最大1.76%（年率・税込）となります。「ダイワプラチナウェルスラップ」の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に対して最大1.65%（年率・税込）となります。
- ・「ダイワアドバンスラップ」の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限0.825%（年率・税込）、固定報酬型：上限1.375%（年率・税込））となります。ダイワSMA（「ダイワSMA」および「ダイワSMAプライベート・アセットアロケーション・サービス」の両方を含みます。以下同じ。）の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限3.3%（年率・税込）、固定報酬型：上限4.4%（年率・税込））となります。成功報酬型の場合は、運用成果の額の最大22%（税込）が加算されます。
- ・投資信託を投資対象とする場合、間接的にご負担いただく費用として、運用管理費用（信託報酬）、監査報酬等の費用が発生します。運用管理費用（信託報酬）は、「ダイワファンドラップオンライン」の場合、純資産総額に対して概算で0.11%～0.34%（年率・税込）となります（組入れ状況等によっては変動します）。他サービスについては資産配分比率・組入れ状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。監査報酬等の費用は、組入れる投資信託の運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。
- ・詳しくは、各商品の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面をご確認ください。

ご投資にあたってのリスク等

- ・投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行なうのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。
- ・「ダイワファンドラップオンライン」、「ダイワファンドラップ」、「ダイワプラチナウェルスラップ」、「ダイワアドバンスラップ」、「ダイワSMA」は投資一任契約に基づき、値動きのある有価証券に投資・運用するサービスであるため、契約資産の額（投資元本）が保証されるものではなく、金利・為替相場の変動および株式・債券の発行者の信用状況などが変化することにより、投資元本を下回る可能性があります。
- ・運用による損益は、すべて投資者であるお客さまに帰属します。

ご投資にあたっての留意点

- ・お客さまに運用をご提案する際に、あらかじめ契約締結前交付書面をお渡ししますので、お申込み前によくお読みください。
- ・また、お申込みの際には、各サービスにおける「投資一任契約書（兼契約締結時交付書面）」、「サービス内容説明書」、「口座約款」、「サービス約款」等で契約内容の詳細をご確認ください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

投資信託にかかるリスクについて

・ファンドは、株式、債券、投資信託証券など値動きのある証券（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託にかかる手数料等について

・投資信託のご購入にあたっては購入時手数料（申込金額に対し、最大3.3%（税込））をご負担いただく場合があります。また、換金時に解約手数料（換金時の基準価額に対して、1口（当初1口＝1,000円）につき最大22円（税込））や信託財産留保額（換金時の基準価額に対して、最大0.5%）をご負担いただく場合があります。投資信託の保有期間中には、間接的にかかる費用として、信託財産の純資産総額に対する運用管理費用（国内投資信託の場合には信託報酬として最大年率2.1875%（税込）程度、外国投資信託の場合には管理報酬等として最大年率3.755%程度）、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用・手数料等（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません）をご負担いただく場合があります。

ご投資にあたっての留意点

・投資信託にかかるリスクおよび手数料等は、それぞれの投資信託により異なりますので、当該投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みください。投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。

【円預金について】

●「大和証券(株)」は、「(株)大和ネクスト銀行」を所属銀行とする銀行代理業者として、「預金の受入れ」および「内国為替取引」を内容とする契約の締結の媒介を行いません。●円預金は預金保険制度の対象です。●円定期預金の最低預入金額は、10万円です。●大和証券が取扱う有価証券や保険は円預金ではないため、預金保険制度の対象とはならず、また元本の保証はございません。●商品に関する詳細は、大和ネクスト銀行ホームページまたは、大和証券の本・支店にて商品概要説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

銀行代理店

大和証券
Daiwa Securities

所属銀行

大和ネクスト銀行
Daiwa Next Bank